

患者氏名：

経過 日付	入院日	2日目	3～6日目	7～11日目	12日目（退院検討日）	退院日	退院時 初回受診時
	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/	/	
ゴール （到達目標）	①透析導入に問題がない ②不均衡症候群の症状・所見がない ③転倒予防行動ができる ④合併症について理解できる ⑤治療について理解できる ⑥入院生活について理解できる	⑦教育に伴う精神的負担がない	⑧検査について理解できる ⑨日常生活の注意点について理解できる ⑩パスキュラーアクセスの管理方法について理解できる	③転倒予防行動ができる ④合併症についてわかる ⑦教育に伴う精神的負担がない ⑨日常生活の注意点についてわかる ⑪パスキュラーアクセスの管理を実践できる ⑫自己止血ができる ⑬止血時の対処方法について理解できる ⑭体重・水分管理、ドライウェイトについて理解できる ⑮フットケアの必要性について理解できる ⑯体重・水分管理について理解できる ⑰災害に対する備えについて理解できる	③転倒予防行動ができる ⑦教育に伴う精神的負担がない ⑨日常生活の注意点について理解できる ⑯体重・水分管理について理解できる ⑰災害に対する備えについて理解できる ⑱栄養管理について理解できる	⑳疾患について理解できる	☆☆☆ 書退退退 類院院院 に後日後 よ、にの つ診退受 て断院診 は書後日 各そ初ま 科の回で 受他外に 付の来異 に書受常 な類診を りが日感 ます必を す要おま すな伝し 場合たら 合しら受 はま診、 すす日 1ー1を 5番待 窓口た へおず 申しに 出診 くだ受 さい診 し
治療 処置	入院時薬剤師がお薬を全部調べます 入院中に薬剤師より薬剤指導があります 午後より血液透析が開始となります シャント穿刺の場合、局所麻酔貼付剤を貼ります	透析日および時間は前日お知らせいたします				退院までに薬剤師から薬剤指導があります	
検査	血圧測定（朝食前と夕方） レントゲン 心電図 検査予定があれば前日または当日説明します						
安静度	制限はありません 転倒転落予防のDVD視聴し 転ばないようにしてください						
食事	血液透析食 間食は控えてください 栄養相談の日程を調節します			2回目の栄養相談の 予約を確認します			
排泄	室内のトイレを利用して入院中は 全ての尿をためてください				11時まで尿をためてください 11時からは流してください		
清潔	透析日は入浴できません しっかり足も観察しましょう						
説明・指導	受け持ち看護師がお話を伺い、 入院中の諸説明をします 医師が血液透析の同意書について説明 します 入院診療計画書など必要な書類を お渡ししますので署名が終わったら 看護師へ提出してください 透析導入期指導に関する パンフレットをお渡しします 病棟・透析センターのスタッフと 一緒に勉強していきます シャントや動脈から穿刺の場合は、痛み止め を貼る位置を決めます 医療制度について医療社会福祉士から説 明があります	病棟看護師 【1～2日目】：シャント：透析日の管理 （外用局所麻酔剤、絆創膏、圧迫綿の使 用方法の理解） 透析センター 【透析1回目】 透析導入期に起こりやすい合併症の理 解	【3～4日目】手帳を記入する目的の理解 【4日目】血圧測定 【5日目】感染対策 【5～6日目】：血圧・体重・検査データの記入 【6日目】透析維持期に起こりやすい合併症の 理解（糖尿病ありの場合は+血糖）	【7～8日目】パスキュラーアクセス管理 の実践（シャント音の聴取、長期留置カ テーテルの防水処置） 【8日目】排便コントロール 【10日目】旅行・運動について説明 【11日目】災害時の食事について説明	【12日目】 ・日常生活の注意点の理解 ・退院後の栄養管理の理解	【退院日】日常生活の注意点の理解 次回透析日までの 日常生活の注意点を確認・ご説明します 看護師が退院時の書類をお渡ししますので、 退院承諾のサインをして提出してください	

※今回の入院につきまして現時点での診療計画は以上の通りです。なお、この説明は現在の病状から予測される範囲のものです。

※病状等に変化がございましたら、その都度ご説明をさせていただきます。ご不明の点がございましたらお申し出ください。